

大空 (生徒・保護者向け) 47号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和3年10月7日(木)

楽しむとラク—教育課程説明会—

□本日の概要

- 1 「楽」はラクという意味の前に、本来は「楽しむ」という意味が語源である。ラクをすると無能になる。ラクをするということは、他の人がする経験を避けて通ることである。能力は経験しなければ身につかない。迷ったときは、大変そうな道を選べ。
- 2 夢はお金で買えないものである。お金は知恵と経験を積むために使うものである。
- 3 仕事は金儲けの手段ではなく、社会に役立つことである。夢を複数持ち、ラクより、楽しそうな道を選択して欲しい。
- 4 本日のNFC 主体性 行動力 想像力

□「楽」の成り立ち

「楽」という漢字があります。音読みは「ガク」であり「ラク」です。訓読みは「楽しそう」と書けば「たのしそう」ですが、送り仮名の「し」がなくなると「らくそう」という読みになります。同じ漢字ですが、「たのしい」と「ラク」では、私は真逆の意味のように感じるのです。

それにしても、同じ漢字なのになぜこうもニュアンスが違うのでしょうか。「楽」という漢字は辞書(大辞泉)にはこう定義してあります。

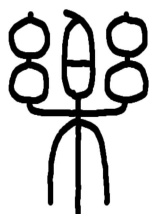
【楽〔樂〕】

【音】ガク(呉)(漢) ラク(呉)(漢)

【訓】たのしい たのしむ

〈ガク〉音を組み立てた調べ。音楽。

- 1 たのしむ。たのしい。
- 2 たやすい。
- 3 「千秋楽」の略。「楽日(らくび)」



「楽」の古い字体が「樂」です。これは象形文字で、このイラストのような文字です。古代の楽器をかたどったもので、飾りのついたハンドベルのようなものではないでしょうか。字を見ても、手にとって踊りたくなるような楽器がイメージされます。このことから、「楽」は基本的に「音楽」であり、音楽を演奏したり聴いたりして「楽しむ」という意味が生まれました。また、音楽は心地よいものであるから、「心身に苦しみがなく安らか」という意味が生まれ、さらにそこから「苦勞するまでもなくたやすい」という意味が生まれてきました。

語源は同じですが、「楽」は、もともとは「楽しむ」であり、積極的な行為です。ところが、現在の「ラク」の使われ方は、安易なニュアンスが強くなってきている気がします。「楽」本来が持つ、積極的な「楽しむ」の意味に立ち返るべきではないでしょうか。

□楽(ラク)をすると無能になる

この言葉は、北海道の小さな工場でありながら、独自にロケット開発をしている植松電機というユニークな会社の社長、植松努氏の言葉です。植松さんは、「ラクをするということは、他の人がする経験を避けて通ることである。能力は経験しなければ身につかない。迷ったときは、大変そうな道を選べ」と語っています。植松氏は、小さな会社を経営しながら、ロケットを飛ばして宇宙開発に取り組むという壮大な夢をあきらめず、未だに努力を継続されています。夢とその達成について悩む若者にとって、アドバイスになる言葉があります。今日は、植松氏の言葉で印象に残ったものに、私なりの解釈を加えてお話しします。

○夢は、君がやってみたくことで、お金で買えないものである

お金は大切ですが、お金で買えるものを目標にすると、いつの間にか目標がお金になってしまいます。例えば、「豪華客船で世界旅行をしたい」という夢は、お金さえあれば誰でも達成できます。しかし、「世界中の人と友達になりたい」という夢ならば、行動力や、外国人とコミュニケーションをとるための語学力が必要になり、極端にいうとオンラインでも自分の努力次第で達成可能です。自分に対して誰かがサービスしてくれることを夢にするのではなく、自分が努力して価値を生み出すことを夢にするのです。世界中の人とコミュニケーションができるという夢が達成されたら、豪華客船に乗るといった選択肢も選ぶことができるような経済力もついてくるでしょう。

○お金は知恵と経験を積むために使う

お金は大切ですが、お金はサービスを買うのではなく、知恵や経験を積むために使うものです。将来につながるお金の使い方でも最も効果的なのは学校に行くこと、つまり勉強の資金にすることです。

お金を払う知恵や経験としては、上質なものをインプットすることも大切です。オンラインでも情報収集は可能ですが、大学生になったら実際の経験を積みたいものです。また、経験を積むには時間とお金が必要

ですから、価値ある経験を選ばなければなりません。逆に、害ある経験は人間を歪める危険があります。チャレンジは必要ですが、インプットの質や危険性などは見極める必要があります。何でもそうですが、いいものは総じてコストがかかります。素材が良く、手間がかかっているものにはコストがかかるのは当然です。だから、インプットの質をあげるには、ある程度の投資が必要になります。

お金は大切なものです。だからこそ、慎重に考え、価値ある投資をしましょう。そうすれば、それは必ず自分に返ってきます。

○仕事は金儲けの手段ではなく、社会に役立つことである

生きていく上で収入は大切ですが、金儲けは人生の目的ではありません。自分が職業を通じて社会に貢献しようと努力した結果、結果的に収入面でも評価されるようになっていたという形が理想かもしれません。例えば物づくりでも、「儲けたい」と思っている会社より、「良いものを作りたい、従業員を幸せにしたい」と頑張っている会社が成長することがあります。偽装や粉飾問題を起こした会社は、「とりあえずラクして儲けたい、損害を少なくしたい」という儲け主義が全面に出て、お客さんや社会の幸福に貢献するという気持ちが薄くなってしまったのでしょう。

人のため、社会のためになりたいと思えば、自分の知識や技術など、自分のレベルを上げたくくなります。私は先生ですので、やはり教え方がうまくなりたいと思うようになりました。もし私が料理人なら、調理の腕を上げたいと思ったでしょう。他の職業でも同様に、上位の資格や技術を取得するように努力するのも、世界が広がり、仕事の幅も広がり、多くの人に貢献することができるからです。人のためになりたいと思えば、そのための努力は苦痛でなく、むしろ喜びになります。

○夢は複数持つ

人生100年の時代です。仕事はその中でも中核になる大切な夢ですが、仕事以外にも様々な夢を持ちましょう。一つの夢を追い求めることは大切な生き方でしょうが、人生、様々なことがあります。人生は、失敗や挫折の連続といっても過言ではありません。仮に失敗しても立ち直る強さが必要です。一つの夢がくじけても、第2志望や別の夢が支えることがあるのです。

日立のコマーシャルに「その木何の木気になる木」というのがありますが、私は若い頃、自立した人間というのは、あの木のような人をイメージしていました。誰にも迷惑をかけず、一人の力で生きることを自立だと考えていたのです。ところが今は違います。同じ逞しさでも、孤高の大木ではなく、群れなす竹林のようなしなやかさの方が強いと思います。竹は、一本だけを見ると弱いかもかもしれませんが、絡み合い、結びつきあい、風に大きくしなりながらも、どんな強風にも負けません。お互いが支え合う関係性が、実は逞しく、

持続可能ではないかと考えています。

夢も同じです。一本の大木のような夢がそびえているのは素敵ですが、複数の夢があり、夢が絡み合い、一つが挫折しても、次の夢が助けてくれる、そんな人の方が、現実の人生ではむしろ「強い」のではないのでしょうか。

例えば野球が好きで、将来、プロ野球選手を夢見ているとしましょう。しかし、誰もが努力すればプロになれるというものではありません。それでは、野球への愛情や情熱は、プロ以外の方法では達成できないのでしょうか。職業としては野球以外の道を選びながら、趣味として野球を続け、地域の子供達を指導するという夢の実現の方法もあります。また、技術者として、スポーツ用品やその開発に打ち込む道もあれば、ビジネスの道を極め、球団の経営に携わる道もあります。あるいは、医療の道に進み、スポーツ等の怪我で悩む若者や、お年寄りが元気で暮らせる社会づくりのために貢献するという道もあります。

夢を複数持ち、複数の価値観で人生を見直すと、結果的に、挫折に強くなります。これは、以前、校長通信32号で紹介した平野啓一郎氏の「分人」という考え方と同じです。「個人の確立」「ブレない自己」というと理想的に聞こえますが、実際は、人は様々な顔の集合体であり、その場その場に相応しい分人を生きているのです。置かれている状況に柔軟に対処することを、否定的に表現すれば「妥協」となりますが、肯定的に表現すれば「柔軟」となります。このバランスは大変難しく、結局はいろいろやってみて、失敗をして、試行錯誤をしないと判断できないのです。一生懸命努力を継続してみても、どうもうまくいかないようだったら次の手を考えるという柔軟さは身につけて欲しいと思います。切り替えの判断が難しいところですが、一度も挑戦しなければ、いつまでたっても未知数ですので、判断できません。そういう人は、「自分はやればできる」の幻想にはまり込み、抜け出すことができなくなる危険があります。「自分は失敗した、ダメな人間だ」ではなく、「自分はベストを尽くした、だから自分の今までやってきた努力を大切にしよう」という境地に立って、冷静な判断ができるようになるのではないのでしょうか。

○楽(ラク)そうより楽しそう

進路決定とは、自分がどの分野で努力するか、どのような社会貢献をするかということを選択することです。進路に迷ったら、楽しめる、興味を持てる分野で努力してほしいですし、努力している限り道は開けるものです。先生達、保護者に相談し、様々な夢を描いて下さい。そして、日々、努力を重ねて欲しいと思います。

○参考 植松 努 『NASAより宇宙に近い町工場』
ディスカバー・トゥエンティワン(2009)